令和 7 年度こまつ地域未来創造塾運営業務 仕様書

第 1 章 総 則

1 条 (適用)

本仕様書は、令和 7 年度こまつ地域未来創造塾運営業務に関して、必要な事項を定めたものである。

2 条 (通則)

受託者は、本仕様書及び委託者の指示に基づいて業務を実施しなければならない。

3 条 (履行期間)

履行期間は契約締結から令和 8 年 2 月 27 日迄とする。但し、履行期間内に業務が不可能である場合は、別途協議により期間の延長を行うものとする。

第 2 章 業務内容及び業務仕様

4 条 (目的)

地域の担い手不足や人口減少を起因として生じる空き店舗の増加などの地域課題を引き起こすといわれ、地域や人と関わる仕事が、その問題を解決する一つの方法であると考えられている。小松市に受け継がれている歴史や文化、自然や食、ものづくりなどの産業資源など多くの地域資源を活用し、新たなビジネスモデルの創出やビジネスリーダーの育成を目指す。

5 条 (業務内容)

令和 7 年 8 月 1 日より、前 4 条の達成を目的に令和 7 年度こまつ地域未来創造塾を開催する。

については、その全体企画の立案、集団セミナーの開催と運営、受講者募集の際の広報作成、受講者へのアンケートの実施・回収・集計（成果品納入の際、受講者記入済のアンケート用紙の提出）、受講者のメーリングリスト等の作成・管理、調査分析・報告書の作成・提出、マスコミへの PR 及び取材時の対応等の業務を行う。なお、詳細が決定していないものについては、今後協議のうえ決定する。

6 条 (業務仕様)

- ① 企画立案については前 4 条の目的に合致したものとする。
- ② 広報作成の際、小松商工会議所が知り得る講師情報等は小松商工会議所が提供する。
- ③ アンケートについては、調査分析・報告につながるような内容とすること。
- ④ 受講者の情報・意見交換のためのメーリングリスト等の作成、管理を行うこと。
- ⑤ 調査分析・報告は、現状・実態等がわかるように明確にしたものとする。
- ⑥ マスコミへの本事業の PR、取材時には対応を行うこと。

第3章 成果品

7条 (納入成果品)

調査分析・報告書 (原本)	1部
調査分析・報告書 (製本)	1部
電子データ (CD-R等)	1部